

ふるさとワーキングホリデー (H28~)

R6当初予算額:30百万円
(R5当初予算額:30百万円)

○ 都市部の人などが一定期間(2週間~1か月程度)地方に滞在し、働いて収入を得ながら、地域住民との交流や学びの場などを通じて地域での暮らしを体感していただくもの。



参加者

地元農家や企業等の業務に従事し収入を得ながら、地域との関わりを深める取組を通じて地域での暮らしをまるごと体感。



- ・ H28~R5において、**約5,100名**が参加 (R5は、**57団体**が実施し、**756名**が参加)。
- ・ 参加者の**約9割**が満足、**約8割**が再訪意向があると回答。
- ・ 参加後、**同地域において、移住・定住や、地域おこし協力隊として活躍するなどの例。**

地方公共団体

滞在中、地域住民との交流や学びの場として地域の魅力・特色を活かした、その地域ならではのプログラムを参加者に提供。



地元農家・企業等

【農業・漁業・林業・旅館・観光業 等】
人手不足の解消が図れるとともに、都市部の若者等との交流が生まれる。



財政措置等により支援(総務省)

広報支援

- ・ 専用のポータルサイトの運用
- ・ SNS(Twitter、facebook、Instagram)の運用
- ・ インターネット広告の実施
- ・ 説明会の開催 等



地方財政措置

地方公共団体が実施するふるさとワーキングホリデーに要する経費について**特別交付税措置**

【対象経費の上限額】
1団体あたり15,000千円+5千円×全参加者の延べ滞在日数

ふるさとワーキングホリデーの実績等

就労内容(例)

- ・ 農業(特産品等)
- ・ 旅館・ホテル
- ・ 酒造業
- ・ 製造業(窯業、神社・仏閣用授与品等)
- ・ 観光業(スキー場、伝統工芸販売等) 等



地域との関わり(例)

- ・ 先輩移住者や地域住民との意見交換会
- ・ 地域の歴史、文化、産業等を学ぶツアー
- ・ 地域イベントの運営体験
- ・ 地元大学生が運営するゲストハウスへの宿泊 等



受入実績

5,121人が参加(H28.4~R5.3)

OR1年度(42団体)(参加者768名)

岩手県、福島県、石川県、岐阜県、京都府、鳥取県、徳島県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、釧路市・新得町・鷹栖町・東川町・剣淵町・浦河町・清水町(北海道)、大館市(秋田)、利島村(東京)、上越市・阿賀町・粟島浦村(新潟)、氷見市・魚津市(富山)、池田町(福井)、長野市・伊那市(長野)、神河町(兵庫)、川上村(奈良)、海士町(島根)、宇部市・萩市・岩国市・長門市(山口)、松野町(愛媛)、宿毛市・香南市・香美市・東洋町・馬路村・中土佐町(高知)

OR2年度(19団体)(参加者167名)

岩手県、鳥取県、大分県、沖縄県、鷹栖町・東川町・清水町(北海道)、利島村(東京)、阿賀町・粟島浦村(新潟)、長野市(長野)、白川村(岐阜)、蒲都市(愛知)、神河町(兵庫)、海士町(島根)、岩国市(山口)、香南市・東洋町・馬路村(高知)

OR3年度(29団体)(参加者303名)

岩手県、大分県、沖縄県、釧路市・鷹栖町・東川町・剣淵町・浦河町・広尾町・幌加内町(北海道)、盛岡市(岩手)、気仙沼市(宮城)、利島村(東京)、阿賀町・粟島浦村(新潟)、氷見市・魚津市(富山)、長野市・大町市・伊那市(長野)、下呂市(岐阜)、川上村(奈良)、府中市(広島)、岩国市(山口)、須崎市・香南市・中土佐町・東洋町・馬路村(高知)

OR4年度(49団体)(参加者572名)

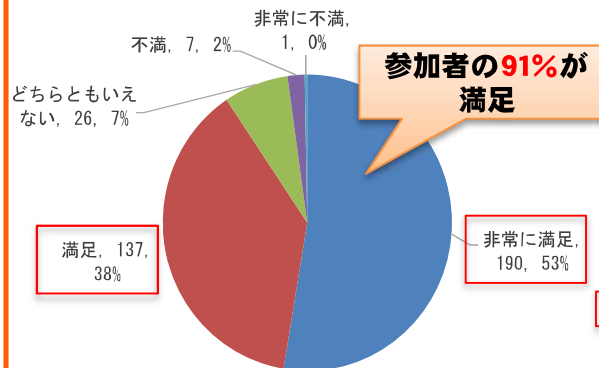
岩手県、石川県、鳥取県、高知県、徳島県、鹿児島県、沖縄県、釧路市・浦河町・東川町・幌加内町・広尾町・弟子屈町・剣淵町・新得町(北海道)、黒石市(青森)、盛岡市(岩手)、気仙沼市・石巻市(宮城)、大館市(秋田)、村山市(山形)、五泉市・南魚沼市・上越市・妙高市・粟島浦村(新潟)、氷見市(富山)、利島村(東京都)、長野市・大町市・伊那市・小川村(長野)、下呂市・関市・白川町(岐阜)、南伊豆町(静岡)、蒲都市(愛知)、川上村(奈良)、南部町(鳥取)、府中市(広島)、岩国市(山口)、徳島市(徳島)、須崎市・香南市・中土佐町・東洋町・馬路村・芸西村(高知)、えびの市(宮崎)

OR5年度(57団体)(参加者756名)

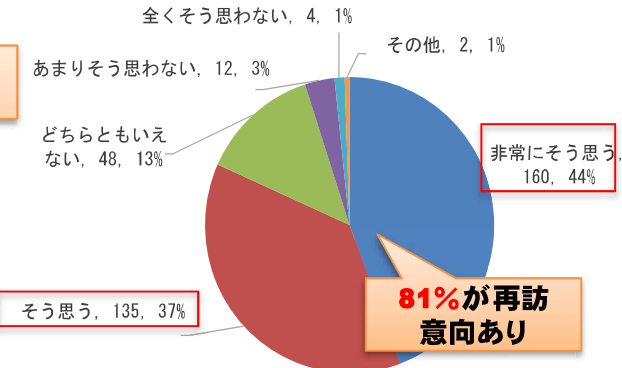
富山県、石川県、静岡県、徳島県、高知県、沖縄県、岩見沢市・秩父別町・士別市・東川町・広尾町・釧路市・弟子屈町・羅臼町・浦河町(北海道)、黒石市(青森県)、石巻市・気仙沼市(宮城県)、大館市(秋田県)、村山市(山形県)、只見町(福島県)、いばらき県央地域(水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村)、利島村(東京都)、妙高市・五泉市・粟島浦村・南魚沼市(新潟県)、伊那市・大町市・長野市(長野県)、下呂市・関市・瑞浪市・白川町(岐阜県)、蒲都市(愛知県)、川上村(奈良県)、府中市(広島県)、岩国市(山口県)、徳島市・鳴門市(徳島県)、松野町(愛媛県)、東洋町・馬路村・芸西村・香南市・須崎市・中土佐町(高知県)、志布志市・知名町(鹿児島県)

参加者へのアンケート結果

「ふるさとワーキングホリデー」の満足度



参加した地域への今後の継続的な訪問意向





北海道 釧路市 参加実績：3名（R5.4～R6.3）

就労内容

農業：ワインブドウの栽培管理・収穫
牧場の手伝い・子牛の哺育
IT：システムエンジニアのサポート業務
自動車整備：アシスタント業務



地域との関わり

- ・岸壁炉端での夕食会
- ・湿原散策など（秋季）
- ・ワカサギ釣り体験
- ・スケート体験など（冬季）



成果等

- ・参加者の中には自主的に再訪問している方や、市で募集している「地域おこし協力隊」に応募する方もおり、**リピーターの確保**につながっている。
- ・今まで当市を知らない・来訪したことがなかった方に対するプロモーションを図ることができたほか、地域との継続的な関わりが見込めそうな人材の発掘を行うことができています。

新潟県 南魚沼市 参加実績：60名（R5.4～R6.3）

就労内容

農業：しいたけ、スイカの収穫、コシヒカリの生育管理
観光業：グランピング、スキー場、レストランの運営補助
宿泊業：キャンプ場施設スタッフ、旅館スタッフ等



地域との関わり

- ・地元中高生との対話型イベントに参加
- ・商店街イベントへの参加
- ・広報冊子の編集を通じた取材



成果等

- ・参加者全員が1軒の古民家で共同生活を行い、寝食を共にすることでの新たなコミュニケーションの機会になった。
- ・ふるさとワーキングホリデーの**リピーター**や、この事業をきっかけに、企業のインターンや**地域おこし協力隊**としてふるさとワーキングホリデーの運営に携わるなど、次の関わりを求める学生も出てきている。

岐阜県 白川町 参加実績：14名（R5.4～R6.3）

就労内容

農業、飲食業、まちづくり事業、観光業、サービス業、教育事業、宿泊業、製造業



地域との関わり

夏祭り、山登り、星空観察会、味噌づくり、醤油しぼり、学校キャンプ、有機農家フェスなど



成果等

- ・R4・R5年度のふるさとワーキングホリデー参加者**22名中4名**が移住に繋がった。**内2名が新卒**で町内企業に就職した。
- ・プログラム参加後も参加者が交流できる機会を設けていることもあり、**継続的に町に関わってくれている方が多い**。

高知県 馬路村 参加実績：23名（R5.4～R6.3）

就労内容

農業、飲食業、観光業、サービス業、宿泊業



地域との関わり

村内イベントとして、森林間伐体験やゆず絞り体験、ゆずのお寿司作り体験・お花見や交流会



成果等

- ・観光、ふるさと納税、馬路村特別村民への登録、馬路村役場・農協などのSNSのフォロー、大学卒業論文のために再来訪、移住フェアの参加、地域住民との継続的交流などワーキングホリデーの枠を超えた**関係人口の拡大**につながっている。

ふるさとワーキングホリデーH28～R5の参加者実績

- 8カ年で5,121人が参加し、うち141人が定住に結びついている（率にして約2.8%）。
- 参加者を年代別で見ると、20代が3,564人（全体に占める割合69.6%）で最大である。
- 30～40代についてみると、参加者491人、定住者35人、定住率7.1%である。

年代区分	参加者(人) a	左のうち定住に結びつ いた者	構成比 a/A	定住率 b/a
		b		
10代	875	3	17.1%	0.3%
20代	3,564	90	69.6%	2.5%
30代	491人 { 347	35人 { 23	9.6% { 6.8%	7.1% { 6.6%
40代	{ 144	{ 12	{ 2.8%	{ 8.3%
50代	67	8	1.3%	11.9%
60代以上	36	1	0.7%	2.8%
不明	88	4	1.7%	4.5%
計 A	5,121	141	100.0%	2.8%

ふるさとワーキングホリデーの広報事例①

ポータルサイトやSNSで募集情報、地域の魅力などを掲載しています。

- ▶ 最新情報は、「ふるさとワーホリ」で検索！！
- ▶ 各自治体でのお仕事やイベントの募集情報を多数掲載中です。
- ▶ SNSでも随時情報発信中、ぜひフォロー、いいねをお願いします！！



自分とふるさとの、未来をつなごう。

総務省ふるさとワーキングホリデー

4,535人が「いいね！」しました

2022-23ふるさとワーキングホリデー@沖縄！！
暑い暑い今年の夏！ふるさとワーキングホリデー@沖縄です。... もっと見る

自分とふるさとの、未来をつなごう。

総務省ふるさとワーキングホリデー

日本中のふるさとで地域の仕事をしながら、地域の人たちの交流や学びを通じてリアルに地域のくらしを体験できるふるさとワーキングホリデー。新しい地域を知り、新しい自分を知る。そんな人生にとって貴重な時間と経験を手にしてみませんか？まずは各地で総務省が主催する合同説明会に足を運んでみましょう！

2022-23ふるさとワーキングホリデー@沖縄
MOVIEが公開されましたー！
7月2日（土）TKPガーデンシティ渋谷ホールAにて、北海道・秋田県・富山県・岐阜県・愛知県・山口県・沖縄県の7団体が説明会を実施！皆様、ぜひお越しくださいませ。

furusato.workingholiday

284 投稿 1,550 フォロワー 0 フォロー中

総務省ふるさとワーキングホリデー
総務省ふるさとワーキングホリデーのInstagramアカウントです。
furusato-work.jp/

ふるさとより... BEAMS JAPAN シーズン前半... 2018夏シーズン

ふるさとワーキングホリデーの広報事例②

インフルエンサー・ひなたさんとのコラボ動画を公開中です。

ふるさとワーキングホリデー



- 20代・30代などの若い世代の「ふるさとワーキングホリデー」への認知拡大を目指し、ターゲット世代から支持される「インフルエンサー」を活用
- 新潟県南魚沼市の古民家旅館「ryugon」での接客や配膳、ベトナムメイクなどの就業体験や、現地スタッフ、ふるさとワーキングホリデーで各地から集まった仲間達との交流を通じて、都心とは異なる地域のリアルな日常をお届け(11万回視聴達成！)(R6.5現在)

ふるさとワーキングホリデーの広報事例③

地方移住専門誌「複住スタイル」にふるさとワーキングホリデー特集を掲載しました。



「複住スタイル vol.7」(英和出版社)

岐阜県

関市

刃物製品出荷額
全国1位!

関市は、包丁、ナイフ、ハサミ、爪切りなどの刃物製品出荷額全国1位を誇る町。鎌倉時代に日本刀づくりが始まり、現在は「世界三大刃物産地」の一つとして国内のみならず、海外にも広く知られている。市北部には山や川などの豊かな自然が広がることから、キャンプをはじめとしたアクティビティを楽しむこともできる。代表的な職種としては、多彩な刃物製品の製造・販売や、伝統的なアユ漁の鵜飼に関する仕事がある。

伝統を受け継ぐ刃物作りの町。



毎年10月に開催される「刃物まつり」には毎年約20万人以上の人々が来場している。



ディープな自然を活かした体験を伴う接客、ゼロからの焼酎造り、トマトづくりの奥深さ、南郷トマトの美味しさの秘密などが発見できる。

福島県

只見町

山林資源や水資源に恵まれた
「本物の田舎」で自然と共生

只見町は、世界遺産級のブナ林などの山林資源、日本有数の田子倉ダムなどの水資源にあふれた町。また、「世界一ロマンティックなローカル線」とも呼ばれる只見線でも知られている。地域を代表する農産物であるブランドトマトの「南郷トマト」の生産、昭和56年に廃校となった学校を活用した宿泊体験施設の「森林の分校ふざわ」、地域の田畑を次世代に受け継ぐことを大いなる目的として作る100%地元原料の米焼酎「ねっか」の生産などが主な受け入れ職種として挙げられる。

「本物の田舎」、「本物の雪国」を体験。

ふるさと 参加者の声

実際にふるさとワーキングホリデーに参加した人の感想を聞いてみましょう。

「自分に合う暮らし、
仕事を見つける
きっかけになりました」
岐阜県下呂市
松本夏実さん

「農業をしたくて移住先を
探すためにワーキングホリデーに
参加し、実際に移住しました」
長崎県伊那市
宮川継右さん

「また来てねって
言ってもらえたのが嬉しくて
また来たいなって思っています」
宮城県気仙沼市・暫大4年
藤岡しほりさん

原口拓也さん

和歌山大学・4年

滞在した自治体 沖縄県

地域人とのつながりが
大きな財産に

「体を動かすことが好きで農業に興味を持ち、地域で行われているさまざまな農業現場に向きたいと思っていて、ふるさとワーキングホリデーの制度を知り、地域の文化体験もしつつ、農作業もできるといふことに魅力を感じ、ふるさとワーホリに参加しました。ある程度長期その地に滞在することで、短期間の滞在ではできない、地域の人とのつながりができることが大きな財産になりました。また、その交流は滞在後も続き、その人に会いに行くためにまたその土地を訪れたり、一度きりの関係性で終わらないところがふるさとワーホリの魅力だと思います」

ふるさとワーホリの概要、参加方法、実施自治体の地域の魅力紹介、参加者の声等を掲載。



渡邊智也さん

筑波大学大学院・修士2年

滞在した自治体 岩手県花巻市
東京利島村

自分の将来について視野を
大きく広げられた

「地元とはまた異なる地方の暮らしを体感してみたかったことや、課外活動などが制限される中で今しかできない新しいフィールドに飛び込んでみたいと考えたこと、そして就職活動を控える中で将来選択について考える機会を作ったことなどが動機になってふるさとワーキングホリデーに参加しました。さまざまな暮らしの在り方を知ることで、特に地域を客観的に見る目が養えたと感じています。また、全く異なる職種から転職し移住された方々とも多く出会い、多様な生き方、考え方に触れたことで、自分自身の現状や将来に対する視野を大きく広げることが出来ました」